

令和3年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市バイオリサーチセンター		
管理者名	NBRP共同企業体	指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日
担当課	経済部産業政策課		
所在地	秋葉区東島316-2		
根拠法令	無		
設置条例	新潟市バイオリサーチセンター条例		
施設概要	用途:貸し研究室 構造:鉄骨造,地上3階建 延床面積:1094.51㎡ 室数:共同利用研究室11室,研究・実験室4室,分析測定室2室 11.2㎡~123.3㎡		

施設設置目的
食品、医療、環境等の分野でのバイオテクノロジーを活用した研究開発における産学官の連携を推進し、総合的なバイオ研究拠点を形成するとともに、新規産業の創出、産業技術の高度化並びに地域産業の振興及び発展に寄与することを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1) 公平な運営、利用者の平等な利用確保 バイオリサーチセンターが公の施設であることを常に念頭において公平な運営を行うものとし、利用者の平等な利用の確保に努める。 【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用許可の可否について、バイオリサーチセンターの設置目的に照らした適正な判断 ・利用者ごとにあらかじめ定めた納付期日による、使用料の適正な徴収 ・使用料の減免についての適正な許可
(2) 適切な施設及び設備の維持管理 利用者が利用しやすいよう、施設設備を安全で良好な状態に保つとともに、維持管理費の削減に努める。 【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・建物躯体及び設備機器の保守管理と安全確認 ・清掃、警備、衛生管理の適切な実施 ・利用者や周辺住民からの苦情への適切な対応
(3) 施設設置目的に即した施設サービス提供 常に利用者からの要望に耳を傾けるとともに、指定管理者独自の知識・技術を活かし、設置目的に即した適切な施設サービスの提供と利用者確保に努める 【重点課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対する適切な接遇とサービス提供 ・災害時の対応体制の整備と利用者の安全確保 ・利用者からの苦情への適切な対応 ・指定管理者独自の知識・技術を活かした利用者へのサービス提供

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページの充実とアクセス数の増加(前年度比)	今年度のアクセス数は906件、訪問者数は410件となった。健康ビジネス協議会主催のセミナーなど企業が集まる場では、バイオリサーチセンターの紹介を行えるよう交渉し、実施した。またHPなどでは、トップ画面に空室情報を掲載し、空室についての問い合わせがあった場合は、即座に企業が求める詳細情報を提供し、前向きに検討していただけるよう対応したことにより、新規利用の相談件数の増加につながった。	B	
	各種サービス満足度	利用者アンケートで管理運営全般についての問いに対し「概ね満足」以上が80%以上	100%(5/5)	A	目標を上回った
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には3営業日以内に回答	施設に対する苦情・要望には、即日に対応した	B	
	関係団体・地域との連絡調整	関係団体・地域との適正な連絡調整実施	適切に実施	B	
財 務	管理運営経費の削減	管理経費の適正執行と経費縮減努力がなされていること	経費縮減の努力を適正に実施	B	
	利用料金の適正徴収	定められた料金の適正徴収と、減免対象者への適正な減免	適切に実施	B	
	利用料の確保	産学連携コーディネート業務等により施設の利用価値を高めるとともに、利用者確保の努力がなされていること	適切に実施	B	
業 務	利用案内等の対応と接遇	利用者アンケートで窓口対応等の問いに対し「概ね適切」以上が80%以上	100%(5/5)	A	目標を上回った
	安全確保対策	安全確保マニュアルの作成と防災訓練年1回実施	各種マニュアルの整備及び消防訓練1回(10月)実施	B	
	入居率	88%(15/17室)以上	94%(16/17室)	A	目標を上回った
	施設の適切な保守管理	建物及び設備機器等について適切な保守管理	産業政策課に相談の上、適切に実施	B	
	清掃、警備等の適切な実施	適切な回数の清掃と必要な形態での警備体制確保	適切に実施	B	
	市内産業への貢献	再委託する場合の市内業者への再委託および資材等の市内事業者(店舗)からの調達率90%以上	適切に実施	B	
	設置目的に合致したサービス提供	指定管理者独自の知識・技術を生かし、施設設置目的に合致した事業実施	適切に実施	B	
	協定書・業務仕様書に定める事項の遵守	協定書・業務仕様書に定める事項の遵守	適切に実施	B	
人 材	配置人員の能力向上対策	職員の接遇研修等を年1回以上実施	適切に実施	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切に実施	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

公平な運営、利用者の平等な確保、適切な施設及び設備の維持管理、施設設置目的に即した施設サービスの提供を基本方針として掲げ運営を行っております。コロナ禍による業績低迷を受け、賃料削減を目的にオフィス縮小に舵を切られる企業もあり、研究室の利用の取止めが続いております。今後も、賃料削減を理由に利用を取止める入居者様も出てくる可能性もありますが、新規利用者様の確保への努力をするほか、3年以上の継続利用をされている企業様も大切に、利用者の確保に努めていきたいと思っております。

また、自主事業の産学連携事業では、企業の課題に対して、大学研究者や研究機関などと協力し、共同研究・委託研究という形で取り組むことで企業と大学の結びつきを強める活動を行ってまいりました。食品安全事業では、企業の品質管理上の様々な課題に対して、当社と大学研究者との協力によって課題解決に取り組んでおります。

主力事業の機能性食品評価事業においては、臨床試験の依頼も徐々に回復しつつあり、新たな活動として、新潟大学の臨床研究支援も始めており、医学系研究者との関係も広がっております。このような活動を通じて、企業側の課題解決・新製品の開発・基礎研究などの支援や、大学研究者の課題解決をサポートすることで、企業・大学研究者から信頼を頂き、双方の協力関係の重要性のアピールができ、新潟市バイオリサーチセンターの高い利用率につながっていると確信しております。

最後に、構造物や設備品の老朽化が進むにつれての今後の対応や、入居していただいている企業の皆様にとって良好な環境の維持が出来るよう検討し、今現在入居されている企業の方々が退去されたときに、他の企業様へ良いアピールをしていただけるよう努めたいと思っております。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

現地調査日:令和4年11月14日

・貸館の入居率がR2年度末より増加したことは大いに評価できる。引き続き、アンケートによる利用者意見やニーズを聞き取り、現状維持にとらわれず、施設機能やサービス向上に向けた改善提案を期待する。

・付属設備等の故障発生時には、修理業者等へ連絡し迅速に対応している。また、貸館利用者のサービス低下を招かぬよう、定期交換など未然防止にも努めており、施設の維持管理に対しては満足できるものである。

・今後について、新規入居者の利用に向け、産学連携コーディネートによる企業からの相談や指定管理者の強みである自主事業にて施設PRを行い、入居者の確保、施設サービスの更なる活用を期待する。